

## 和歌山県立きのかわ支援学校 学校運営協議会

令和2年度 第3回【2月18日(金)】

出席者：委員8名、傍聴人1名

### 議題

- ①今年度の進路状況について
- ②今年度の成果と課題
- ③来年度に向けて

### 議論した主な内容

#### ①今年度の進路状況について

学校長から今年度の進路状況の説明をした。小学部6年生9名は全員本校中学部へ進学、中学部は1名は高等学校進学希望、16名は本校高等部への進学を希望している。高等部23名は一般就労や福祉的就労などの進路が決定しており、今年度の特徴として自立訓練の事業所に進路が決定した生徒が多かったことを報告した。

#### ②今年度の成果と課題

学校評価アンケートの結果（教職員・保護者・学校運営協議会）について協議を行った。委員からは進路指導についての保護者や学校運営協議会の評価が低いことが指摘され、「生徒は）ここの学校にいる間はよい。が、卒業してからどのようにしていくかを考えなければならぬ。」「地域の企業などと情報交換することが大切では。」「学校が地域の中へ入っていき、地域が学校を知ることが必要では」などのさまざまな意見が出された。本校からは「どんな仕事があり、自分が何をしたいのか」という進路選択力を高めるために高等部1年生のころから企業訪問やハローワーク、障がい者地域生活相談センターとの連携が必要であることなどを伝えた。

高野口共育コミュニティ所属の委員から公民館との連携や地域の人との交流を深める活動について提案があった。また紀北農芸高校との連携では農芸高校が行っている販売活動と一緒に参加してみたいという提案もあった。学校長より、頂いた意見を具体化できるよう今後も取り組んでいきたい旨を伝えた。

安心・安全な学校づくりの視点では、新型コロナウイルス感染症対策で学校での予防対策や環境面の整備などを説明した。

教育課程の改善については本校が考えた「つけたい力」を基に「この授業でつけようとしている力が卒業後のどんな力につながっているのか」を考えながら、小学部中学部高等部と授業を展開していくことが今後の課題であることを説明した。

#### ③来年度にむけて

コロナ禍による学校行事の取り組みや公開実践発表会の実施の予定を報告した。

